

講 演 会

# わたしを“私”らしく 表現する意義

考えよう 乳がんのこと 自分を表現すること



©TYK Promotion

講 師

## 矢方 美紀 さん

タレント・声優

1992年大分県出身。

SKE48卒業後の2018年、25歳の時にステージ2Bの乳がんにより、左乳房全摘出・リンパ節切除の手術を受ける。

「自身の身体を知る」ことの重要性を伝えるとともに、癌になっても夢を諦めない、前向きな姿勢で、テレビやラジオ出演・ナレーション・講演会等、名古屋を拠点に全国的にタレントとして活動中。

2020年には子供の頃からの夢である声優デビューも果たした。

司会：藤岡 阿由未（表現文化学科教授）

日時 2021年 12月 13日 月 15：10 ▶ 16：10

会場 大学会館3F 大講義室 Spirit

定員 先着150名 ※本学の学生・教員限定

「心の声に沿った“自分らしい”表現、皆さんはできていますか？

このためには「自身の身体を知る」ことが大切です。

矢方さんのお話から、様々な立場の人が“自分らしく”表現する意義を考えてみましょう。

身体の声は、セルフチェックで聞くことができます。

慌ただしい師走のひとつとき、少し立ち止まって、心と体の声を聞いてみませんか？」



NHK乳がんダイアリー